

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成25年6月20日(2013.6.20)

【公開番号】特開2012-223193(P2012-223193A)

【公開日】平成24年11月15日(2012.11.15)

【年通号数】公開・登録公報2012-048

【出願番号】特願2012-133262(P2012-133262)

【国際特許分類】

A 22 C 17/00 (2006.01)

B 26 D 3/28 (2006.01)

【F I】

A 22 C 17/00

B 26 D 3/28 610 G

B 26 D 3/28 620 F

B 26 D 3/28 620 P

【手続補正書】

【提出日】平成25年4月4日(2013.4.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

食肉スライサーから切り出されるスライス肉片を受取り周面に付着させて移送する回転体と、回転体に近接して回転体の走行方向に対して逆方向に回転して回転体からスライス肉片を剥ぎ取る剥離ローラーと、剥ぎ取られたスライス肉片を始端部で受取りスライス肉片の移送方向に沿って機外に搬出する搬出コンベヤとを具備したスライス肉片の搬出装置であって、搬出コンベヤの始端部における上面と回転体の周面とによって形成されるデルタ状の谷間に剥離ローラーを互いに近接させて回転体の周面と搬出コンベヤの上面とで挟むように配置したことを特徴とするスライス肉片の搬出装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明は、食肉スライサーから切り出されるスライス肉片を受取り周面に付着させて移送する回転体と、回転体に近接して回転体の走行方向に対して逆方向に回転して回転体からスライス肉片を剥ぎ取る剥離ローラーと、剥ぎ取られたスライス肉片を始端部で受取りスライス肉片の移送方向に沿って機外に搬出する搬出コンベヤとを具備したスライス肉片の搬出装置であって、搬出コンベヤの始端部における上面と回転体の周面とによって形成されるデルタ状の谷間に剥離ローラーを互いに近接させて回転体の周面と搬出コンベヤの上面とで挟むように配置したことを特徴とするスライス肉片の搬出装置としている。